

# 相談事例

ID：07-01-021

## 相談タイトル

空き家になっている家の利活用について

## Q：ご相談内容

現在、所有している家が2軒あるが、1軒は空き家となっており、荷物置き場として使用している。立地は良いところなので、空き家になっている家をリフォームして将来的に住みたいと考えている。老朽化しているがリフォームした方がいいのか建て替えた方がいいのか、また、リフォームにかかる費用などについて相談できるか。

## A：回答

リフォームを行い利活用を図るのが良いか、建て替えを行った方が良いかにつきましては、空き家となっている建物の老朽化の状態や相談者並びにご家族の考えもあると思いますので、こちらでは回答致しかねます。社会的な動きとしては建築物等については既存ストックの活用が求められていますが、そのために多額の費用（リフォーム費用）が掛ることもありますので、相談者の方の考え方によるものと思います。「リフォームガイドブック」という冊子に、リフォームを行う際の注意点や各種の補助や融資制度、税金の優遇措置などが記載されていますので、参考にして下さい。なお、リフォーム工事でも一定規模の工事内容であれば、複数の者から見積をとって比較検討を行い、契約に際しては必ず書面として工事請負契約書（契約約款）を取り交わして下さい。工事途中で変更が出た際にはその都度、双方で工事内容、費用等について確認し写真を撮るなど記録を残しながら、変更の覚書などを取り交わし、変更内容・変更協議を明確にしておいて下さい。